

吉崎いずみ通信 vol.5



渋谷区議会議員 吉崎いずみ

2024年第2回定例会号

——渋谷区議会区政報告——

発行:渋谷区議会公明党 東京都渋谷区宇田川町1-1 渋谷区役所内



区議会公明党が提案した認知症サイトが10月にスタート！

ハチさんぽポイント付与対象が拡大へ！
熱中症対策も大きく前進！

第2回定例会・区議会公明党の代表質問より

令和6年6月4日(趣意)

防災

在宅避難推奨について

質問 区で実施している高齢者や障がい者の居られる世帯などが無料で利用できる家具転倒防止金具の無料取り付けの申込窓口の設置。家具転倒防止金具の購入費用の助成チラシの配布。防災用品あつせん、使い方体験も込みで防災トイレ展示など。情報提供で終わらない、即申請、即購入ができる取組みの導入を提案します。

答弁 (区長) 今年度は、全ての会場で防災用品の購入ができるよう準備をしています。

また、区の助成制度についても、会場に申請受付の窓口を設置するため、その場で申請することが可能となっております。

災害時長期停電対策について

質問 今後、建て替える新しい学校施設は、地域防災の拠点としての機能を強化するとしています。が、どのような機能が検討されているのでしょうか。停電対策も含めてお示しください。

また、学校施設以外で、新たに建設、リニューアルされる区施設・公園等についても停電対策を計画に盛り込むことはできないでしょうか。

答弁 (区長) 避難所の停電対策として、非常用発電機を設置し、災害時でも照明や空調機などが利用ができるよう整備を行っていきます。

その他にも、災害時用のWiFi設備の設置や、屋内トイレを災害時でも利用できるように設計上の工夫を行うなど、避難所生活の負担を少しでも減らすための機能を備えてまいります。

また、区立公園や区有施設を新たに建設、リニューアルする際に、防災・減災に対応した照明について、維持管理面を調査し、避難行動における必要性などを考慮のうえ、導入に向けて検討してまいります。



安心・安全

消費者を守る取り組みについて

質問 本年4月、60代の区内に住む方が、リビングの照明が故障し、電気工事事業者のホームページを見て連絡したところ、町の電気屋さんに頼めば1万数千円でできる工事に7万円を支払ってしまったそうです。

このような被害をなくすため、あらゆる方法を駆使し啓発広報して頂きたいと思っています。

答弁 (区長) 現在、区ニュースやポータルサイトにおいて、定期的な被害防止啓発を行っています。

また、具体的な相談事例を記載したリーフレットを施設にて配布するほか、安心見守りサポート協力員の方への啓発活動なども実施しています。

今後は、消費者センターとも連携を図り、すでに実施している消費生活講座などを活用し、トラブル事例を交えた講義を追加で実施すること、さらなる区民への注意喚起を行い、あわせてSNSやデジタルサイネージの活用や、デジタルデバйд事業においても啓発を行ってまいります。



環境

標語の作品募集と表彰式について

質問 10月の「食品ロス削減月間」に合わせて開催される「しぶやもったいないマーケット」では、区内在住・在学の小学生から募集した標語の表彰式・応募作品の展示があります。

さらに多くの子どもたちが応募できるよう、子どもたちのタブレットに案内を貼り付けることを提案します。

また、表彰式についても、表彰者のご家族関係者のみの参加です。せっかくの晴れの場ですので、より多くの方々の前で表彰式を行える工夫も検討してください。

答弁 (区長) 作品募集については、議員のご提案にもあるように、タブレット端末を活用して呼びかける予定です。

また、表彰式については、オープンスペースであるギャラリイ大和田で実施し、どなたでも表彰式をご覧いただけるようにいたします。

福祉

認知症サイトについて

質問 我が会派が提案した認知症サイトの開設が本年度実施となります。

具体的な内容と、全体的にどのようなイメージになるのかお示しください。

答弁（区長）「認知症になっても、渋谷なら大丈夫」をコンセプトに、今年10月の開設に向けて準備を進めております。

日頃から認知症について不安な気持ちを抱えている方が、このサイトを訪れ、不安な気持ちを安心に変えることができ、そして何度も訪れたくなるような温かさにあふれたサイトになるよう制作に取り組んでいます。

また、情報にたどり着きやすいレイアウトや、親しみを持っていただけるデザインとなるよう検討しています。

認知症高齢者の行方不明対応について

質問 今年度、区は、小型GPSの貸与と、日常生活賠償補償付帯サービスを開始します。どの様な事業になるのかお示しください。

また、認知症見守りキーホルダーと、おかしりサポートメール利用者・登録者の増加に向けた取り組みも継続して頂き、個人情報を守る形で、捜索中の時間のみ、顔写真・靴を履いている全身写真を情報として確認することができ、システムの導入を提案します。

答弁（区長）小型GPSを携帯した認知症高齢者が行方不明となった場合、ご家族等がインターネット検索や、24時間対応のコールセンターへの問い合わせで、本

人の位置が分かり、早期発見、安全確保につながるものです。

加えて、万が一、利用者が日常生活において、他人の物を破損したり、誤って線路内に立ち入り事故を起こした場合の備えとして日常生活賠償保障を付帯すること、で、介護者の負担軽減を図っていきます。

なお、議員ご提案の顔写真などを捜査中のみ公開できる新システムにつきましては、今後の研究課題とさせていただきます。

ハチさんぽの活用について

質問 脳にいいアプリ「ハチさんぽ」は、高齢者の社会参加や健康増進のため、健康活動、地域のサロン、ボランティア活動の参加に対し、ハチペイポイントに交換できるハチさんぽポイントを貯めることができます。

区施設に入場すると同等のポイントを得ることができる仕組みを導入することを提案します。

答弁（区長）議員ご提案の公共施設来場時のポイント付与について、高齢者の外出機会の創出に効果的と考えられることから、今後ポイント付与を行う施設などについて検討を進めていきます。



教育

がん教育授業の保護者参観について

質問 がん教育の授業について、保護者の参観も推進するべきだと考えます。

生徒と保護者が、医師などの専門家から、同じタイミングで、直接正しい情報を得ることは、家庭でのワクチン接種に関する話し合いの一助になると考えます。

答弁（教育長）今後は、専門家を活用したがん教育の授業を実施する際に、保護者が参観できるように、学校に伝えてまいります。

健康

子宮頸がんワクチン接種について

質問 令和4年4月にHPVワクチンの積極的勧奨が再開され、定期接種と併せてキャッチアップ接種も実施されてきましたが、本年度末には、キャッチアップ制度が終了となる予定です。

HPVワクチンは、6カ月の接種間隔が必要となるため、期限内に接種するには、今年9月までに1回目を打たなければ間に合わないこととなります。

再度、個別勧奨の実施と、区ニュース・ホームページ等で周知をするべきです。

答弁（区長）接種を希望する対象者が認識しなかったということがないよう、夏休み前に、区ニュース、区ウェブサイトであらためて周知するとともに、加えてLINEも活用して周知徹底してまいります。

熱中症対策について

質問 今夏の気温は、平年よりも高くなるが見込まれる中、早めの対応が必要だと考えます。

そこで、これまで行ってきた区施設の一角を涼み所として、休憩ができるスペースを準備することを提案します。

また、給水器などが無い施設では、防災備蓄の水を活用し、希望する方に提供するのはいかにでしょうか。

答弁（区長）本年は、区施設35か所に休憩ができるスペースを準備し、グーグルマップ上で身近な場所を検索・利用することができるようになります。

給水器がない施設には、1月に大塚製薬株式会社と締結した健康づくりに関する連携協定の中で対応できないか現在検討しています。



——もっと元気に！区政に生活者の視点を——
みなさまの声をお聞かせください！

よしざき

渋谷区議会議員

吉崎 いずみ



X (旧Twitter)

〒150-8010 渋谷区渋谷区宇田川町1-1
渋谷区役所内渋谷区議会公明党控室

TEL. 03-3463-1036
FAX. 03-5458-4962